

台東区区民憲章策定区民会議 班別会議 第1班
第1回（平成17年9月29日）の主要意見

区民憲章の検討の進め方について

台東区に対する深い理解や知識が重要

- * 台東区に対する深い理解にもとづく言葉を憲章に表していくことが必要。
- * 区の歴史などもふまえて検討することが必要。

台東区に対する愛情、愛着も重要

- * 今の台東区が好きだと思っている気持ちを大切にし、表現したい。

その他

- * 台東区らしさは良い点だけでなく、問題点も抽出することが重要。
- * 基本構想と区民憲章は全く異なる方向性では問題だが、全く同じである必要もない。

台東区らしさについて

良い点

- * 歴史的資産が豊か。
- * 犯罪が少なく、治安が良い点。
- * 「お祭り」が台東区の代表的イメージ。
- * お年寄りが元気であること。

問題点

- * マンション化による下町の町並みが持つ身近な緑の消失（ただし地域により異なる）
- * 緑が少なく、また減ってきている。
- * 地域文化の継承のため、増加する転入者の地域コミュニティへの参画促進が必要。
- * 自分たちに都合の良い歴史だけでなく、歴史をありのままに残していく姿勢が重要。
- * 歓楽街のイメージなど外部から見たイメージが良くない。

その他の台東区らしさ

- ・ 高度な文化とホームレス問題の併存などの二面性。
- ・ だれでも分け隔てなく受け入れる受容性の高さ。
- ・ 地域によって全く違う顔を持っている多様性。